

**第5回全日本企業対抗ゴルフトーナメント個人戦**  
**大会ルール**  
**～ 全国決勝大会 ～**

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2016及び大会ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. 使用球についての規格及び規則

R&A公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。

4. キャディとカート

各選手はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。

（徒歩プレーの会場を除く）

大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。

違反があった各ホールに対し2罰打。ただし、1ラウンドにつき最高4罰打まで。

（違反のあった最初の2ホールに各2打の罰）

4-2 セルフプレーの会場

キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の

1番の選手は1番目のホールから5番目のホール カートのリモコンを操作する。

2番の選手は6番目のホールから9番目のホール カートのリモコンを操作する。

3番の選手は10番目のホールから13番目のホール カートのリモコンを操作する。

4番の選手は14番目のホールから18番目のホール カートのリモコンを操作する。

但し、お互い了解の上カートのリモコンを操作する場合は、カートのリモコンを操作する順番をじゃんけんで決めることができる。

5. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。

この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）

## 6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定

■全員が9ホールズを消化している場合→競技成立

■全員が9ホールズを消化していない場合→競技不成立

※タイスコアの場合は9Hの最終ホールからのカウントバックで勝敗を決める。

※OUT、IN 両方からスタートした場合は、それぞれ平等に順位が与えられる。

※短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィの減額は有りませんので、予めご了承くださいませ。

## 7. 第2の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。

第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

## 8. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、指定練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

## 9. クラブに関して

JGA 付属規則Ⅱの4c (i) のペンデュラムテストプロトコル (R&A内規) の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド (いわゆる高反発クラブ) の使用を禁止する。

※「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

## 10. 距離測定器について

距離測定器の使用は認める。

但し、勾配や風速・風向を計測する機能を有する機器の使用は認めない。

例) レーザー距離測定器で高低差が表示されるもの→使用不可

(勾配を計測している)

例) スマホ等携帯電話アプリの使用は、距離測定機能の他の分析機能を有する機種が多く疑わしい行為となり、他の選手の気を散らす原因になるので禁止とする。

## 11. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

#### 1 2. コールオン（後続組先打たせ）方式について

使用しない。

競技委員の決定が無い場合にコールオンを使用した場合は失格となる。

#### 1 3. プレーにおける規則

【JGAゴルフ規則6-7】プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。

規則6-7の違反の罰は、ストロークプレーでは2打。その後更に同じ違反があった場合は競技失格。

#### <当競技委員会のスロープレーに関するガイドライン>

スロープレーとは前の組と15分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。あるホールで前の組と15分以上離れてしまつて、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで15分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。また、前半9ホールズを前の組より15分以上遅れてホールアウトし、後半の9ホールズも前の組と15分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。

※通常、前の組との間隔は7分～8分です。

#### 1 4. タイスコア時の決勝方法

タイスコアの場合はOUTスタート、INスタートに関わらず18番ホールからのカウントバックで勝敗を決める。

#### 1 5. 競技不成立になった場合

険悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。

以上

2017年11月7日  
全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
競技委員会

# 葛城ゴルフ倶楽部

## ローカル・ルール

### 《葛城ゴルフ倶楽部特別規則》

- ① アウト・オブ・バウンズの境界は白杭にて示し、アンダーリペアの区域は青杭または白線をもって標示する。ウォーターハザードは全てラテラルウォーターハザードとし、その境界線は赤杭をもって標示する。
- ② 下記箇所は「動かせない障害物」とする。  
排水設備、水道設備、土止柵、切株、樹木の支柱、ボール洗器、固定席、橋（ハザード内の橋は、障害物とみなさない）金網などの構築物、カート道路。  
人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- ③ 現在使用していない予備グリーン（closedにて標示）及び軌道カートパス（レール状カートパス）のレール間はプレー禁止の修理地（スルー・ザ・グリーン）とし、その上に球が止っているか、またはスタンスがかかる場合ゴルフ規則 25-1b (i) を適用しなければならない。
- ④ 降雨の為、バンカー内にできた亀裂にボールが止まった場合、無罰で拾い上げホールに近づかず、前位置に最も近いバンカー内にドロップすることができる。
- ⑤ 山名コースNo.1 4ホールにおいて球が高圧線に触れた場合、そのストロークを取消し、罰なしに前の位置から打ちなおすことができる。
- ~~⑥ 山名コースNo.1 7ホールにおいて、第1打がラテラルウォーターハザードに入つた場合、指定のドロップエリアより第3打としてプレーすることができる。但し、クラブ競技はのぞく。~~
- ⑦ 山名コースNo.2、~~No.7、No.8、No.9、No.15、~~No.16の各ホールにおいて、第1打がOBもしくはロストボールの場合、特設ティより第4打としてプレーしなければならない。但し、クラブ競技はのぞく。
- ⑧ プレーヤーは、そのラウンドのホールアウトを終わったグリーン上において、またはそれを目標として練習はできない。

本ルールに適用のない事項はすべて J.G.A 競技規則による。

※     印は大会ルールとする。

### =追加大会ルール=

#### <コールオン>

本競技では、パー3のホールに限り、コールオン方式を採用する。パー3のホールにおいて先行組がつかえている場合、競技委員が立ち会いのもと、コールオン方式を指示しますので、それに従ってください。選手が勝手にコールオン方式を採用した場合、ゴルフ規則 6-8.a.の違反（プレーヤーは自らの判断でプレーを中断することはできず、認められる状況でないのに中断した）とみなされます。

ヤーデージ（Kグリーン使用予定）

<b>HOLE</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>OUT</b>
<b>PAR</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>36</b>
FRONT	366	396	493	136	475	342	164	372	341	3,085
REGULAR	391	411	509	153	489	366	192	400	349	3,260
BACK(チャンピオン)	421	431	536	179	524	390	224	415	371	3,491
<b>HOLE</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>IN</b>
<b>PAR</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>36</b>
FRONT	361	132	352	338	364	487	425	142	473	3,074
REGULAR	378	144	364	360	378	512	443	161	504	3,244
BACK(チャンピオン)	406	166	392	385	404	544	461	184	527	3,469

男性：チャンピオン（青） 男性シニア：レギュラー（白） 女性：フロント（銀）

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上

2018年 1月 4日  
全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
競技委員会